

2024年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	文化論 I	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	1 Semester(前期)
学科・専攻	美容師科 全専攻	授業 形態	講義	単位 時間	30 (1)	曜日 時限	水 K1(1限)・K2(2限)
教員	熊谷 亮宏	教員実務 経験	福岡ベル1期生から美容師国家試験の筆記分野を19年間担当				

【到達目標】 日本の美容業の歴史、ファッション文化史、礼装の種類を学ぶことにより美容師国家試験の課目である文化論が美容師として必要であることを理解し国家試験合格出題傾向の高い重要ポイントを中心に整理し、基礎的知識への理解を深める

【授業の学習内容】

『今流行しているファッションはどんな時代の流れで誕生したのでしょうか？』
日本の理容・美容業の歴史、日本と西洋のヘアスタイル・ファッション・化粧の文化史に関する基礎的な知識を習得する授業を行う。
全員が問題を解けるようになるために、周りと協力しながら演習に取り組んでください。

No.	授業形態	授業計画・内容	小テスト・中間テスト・定期試験
1	登校	ファッション文化史(明治・大正・昭和初期) 男性・女性の髪形の歴史	小テスト3点
2	登校	ファッション文化史(明治・大正・昭和初期) 男性・女性のファッションの歴史	小テスト3点
3	登校	ファッション文化史(1945年～1950年代) 男性・女性の髪形の歴史	小テスト3点
4	登校	ファッション文化史(1945年～1950年代) 男性・女性のファッションの歴史	小テスト3点
5	登校	ファッション文化史(1960年代～) 男性・女性の髪形の歴史	小テスト3点
6	登校	ファッション文化史(1960年代～) 男性・女性のファッションの歴史	小テスト3点
7	登校	文化論前半の重要ポイントを整理する(年表整理)	
8	登校	中間テスト(終了後に解説)	中間試験20点
9	登校	ファッション文化史(1970年代～) 男性・女性の髪形の歴史	小テスト2点
10	登校	ファッション文化史(1970年代～) 男性・女性のファッションの歴史	小テスト3点
11	登校	ファッション文化史(1980年代～) 男性・女性の髪形の歴史	小テスト3点
12	登校	ファッション文化史(1980年代～) 男性・女性のファッションの歴史	小テスト2点
13	登校	ファッション文化史(1990年代～2000年代)	小テスト2点
14	登校	文化論後半の重要ポイントを整理する(年表整理)	
15	登校	定期試験(終了後に解説)	定期試験50点

準備学習
時間外学習 準備 : 特にありません。
時間外学習 : 自主性を重んじているため、授業外における学習はお任せします。
(授業欠席時の内容は必ず確認しておくこと)

評価方法
●自然後 : 100点(小テスト30点+中間テスト20点+定期試験50点)
◇出席 : 出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる)
◇合格 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60)
否(E:評価資格喪失、F:59~0)
実習や習熟度が測れないものについてはS・A評価

受講生へのメッセージ
勉強が苦手でも構いません。
国家試験に合格したいという気持ちを常に持ち続け、そのためにできることは何かを意識しながら、ベルでの生活を楽しんでください。
頑張る学生を応援しています。

【使用教科書・教材・参考書】

- ・『文化論』(日本理容美容教育センター)
- ・教科書のポイントをまとめた教材を、適時用意します(ノートは必要ないので、プリントを保管するためのクリアファイル類を準備してください)